

2025年度 愛知学泉大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
330532123	保育実習Ⅱ Childcare trainingⅡ	伊藤久美子・宮武里衣			2	選択	3後期

科目の概要

DP①、③に記載している建学の精神、社会人基礎力、pisa 型学力を活用して、現代のこどもの生活問題に対する認識と現実の保育および教育現場での課題に対する見識を深め、専門的な知識と技能を身に付け、現代の子育て問題や教育再生、地域再生に取り組むことができ、DP⑤の社会的に自立して生きていく上で必要な建学の精神・社会人基礎力・ p i s a 型学力・直観力・自然体を統合的に身に付けることを目指します。自立した社会人として、常に自己研鑽に取り組み、自らの可能性を高めて社会に貢献しようとする姿勢を持つ保育者の育成を目指します。特にこの科目では、保育所の役割や機能について、具体的な実践を通して理解を深めます。そして、子どもの観察や関わりの視点を明確にすることで、保育の理解を深め、既習の教科目や保育実習Ⅰの経験を踏まえ、子どもの保育及び子育て支援について総合的に理解します。さらに、保育の計画・実践・観察・記録及び自己評価等について、実際に取り組み、自己課題を明確にします。また、保育士の業務内容や職業倫理について、具体的な実践に結びつけて理解し、DP⑥の生涯学習社会の中で自己の潜在能力をさらに開発しながら、職場と地域・国際社会の課題解決に貢献できる保育者を目指します。

学修内容	到達目標
① 保育所の役割や機能について、具体的な実践を通して理解を深める。 ② 子どもの観察や関わりの視点を明確にすることを通して、保育の理解を深める。 ③ 既習の教科目や保育実習Ⅰの経験を踏まえ、子どもの保育及び子育て支援について総合的に理解する。 ④ 保育の計画・実践・観察・記録及び自己評価等について、実際に取り組み、理解を深める。 ⑤ 保育士の業務内容や職業倫理について、具体的な実践に結びつけて理解する。 ⑥ 実習における自己の課題を明確化する。	① 保育所の役割や機能の具体的展開について養護と教育が一体となつて行われる保育及び保育所の社会的役割と責任について理解を深めることができる。 ② 観察に基づく保育の理解について子どもの心身の状態や活動の観察、保育士等の援助や関わり、保育所の生活の流れや展開の把握ができる。 ③ 子どもの保育及び保護者・家庭への支援と地域社会等との連携、環境を通して行う保育、生活や遊びを通して総合的に行う保育について総合的に理解できる。 ④ 指導計画の作成・実践・評価について、全体的な計画に基づく保育の過程の理解、作成した指導計画に基づく保育の実践と評価に実際に取り組み、理解を深めることができる。 ⑤ 保育士の業務と職業倫理について、多様な保育の展開と保育士の業務、多様な保育の展開と保育士の職業倫理について具体的な実践に結びつけて理解できる。 ⑥ 実習における自己の課題の明確化ができる。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素

学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例

前に踏み出す力	主体性	準備・実践における該当課題について自発的に取り組むことができる。
	働きかけ力	
	実行力	目標や課題に向けて諦めず、強い意志をもってやり遂げることができる。
考え抜く力	課題発見力	子どもの発達等に関して思い込みや憶測ではなく事実に基づいて情報を客観的に整理し、課題を見極めることができる。
	計画力	
	創造力	子どもの発達・援助等を考えるときに、固定概念にとらわれることなく既習科目等様々な観点から考えることができる。
チームで働く力	発信力	聞き手（子ども）に分かりやすい援助の仕方（声の大きさ、スピード等）や発達に即した実践をすることができる。
	傾聴力	実習指導者の意見を正確に理解したり、疑問について質問をしたりすることができる。自分に対する指導においても素直に聞き、受け止めることができる。
	柔軟性	
	状況把握力	
	規律性	実習のルール（実習態度、日誌の期日を守った提出等）の必要性、重要性を理解し、遵守することができる。
	ストレスコントロール力	

テキスト及び参考文献

参考文献：保育所保育指針解説・幼保連携型認定こども園教育・保育要領・パーフェクトガイド・実習の手引き・実習日誌「保育実習Ⅱ」

他科目との関連、資格との関連

保育実習Ⅱ（保育実習）（330532123）は、保育実習指導Ⅱ（330532122）、保育実習Ⅰ（330522120）、施設実習（330531121）で修得した知識、実践力を基とし、教育実習（幼）（330541127）の基礎となる科目である。また保育実習Ⅱは、保育士資格必修科目である。

学修上の助言	受講生とのルール
・実習準備を十分にを行い、積極的に保育に参加すること。 ・知識や技術の修得を目的にすることなく、自分が目指す保育者としての将来像をもって実習に参加すること。	・保育者を目指す学生として相応しい服装、態度、言葉遣いで実習に参加すること。 ・提出物は期限を守って提出すること。 ・無断欠席をしないこと。

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標				各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①		⑥		
				②				
				③				
				④				
				⑤				
	平常評価	小テスト	0	①		⑥		
				②				
				③				
				④				
				⑤				
		レポート	0	①		⑥		
				②				
				③				
				④				
				⑤				
		成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	90	①	✓	⑥	✓	実習日誌及び責任実習において下記の内容が実践されていること。 ①保育所の役割や機能の具体的展開について、養護と教育が一体となって行われる保育、及び保育所の社会的役割と責任について理解を深めることができる。 ②観察に基づく保育の理解について、子どもの心身の状態や活動の観察、保育士等の援助や関わり、保育所の生活の流れや展開の把握ができる。 ③子どもの保育及び保護者・家庭への支援と地域社会等との連携について、現場を通して行う保育、生活や遊びを通して総合的に行う保育、入所している子どもの保護者に対する子育て支援及び地域の保護者等に対する子育て支援、関係機関や地域社会との連携・協働について総合的に理解できる。 ④指導計画の作成・実践・観察・記録・評価について、全体的な計画に基づく指導計画の作成・実践・省察・評価と保育の過程の理解、作成した指導計画に基づく保育の実践と評価に実際に取り組み、理解を深めることができる。 ⑤保育士の業務と職業倫理について、多様な保育の展開と保育士の業務、多様な保育の展開と保育士の職業倫理について具体的な実践に結びつけて理解できる。 ⑥実習における自己の課題の明確化ができる。 ・pisa型学力の評価方法について 知識の獲得（保育実践の目的の理解・保育方法の理解）：30% 知識の活用（保育の実践の意義を理解した事例の活用の試み）：40% 知識の解決（保育技術に関する問題提起の事例と具体的な提案）：30%
				②	✓			
				③	✓			
				④	✓			
				⑤	✓			
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓	⑥	✓	（主体性）実習準備、実践における該当課題について自発的に取り組むことができる。 （実行力）目標や課題に向けて諦めず、強い意志をもってやり遂げることができる。 （課題発見力）子どもの発達等に関して思い込みや憶測ではなく事実に基づいて情報を客観的に整理し、課題を見極めることができる。 （創造力）子どもの発達・援助等を考えるときに、固定概念にとらわれることなく既習科目等様々な観点から考えることができる。 （発信力）聞き手（子ども）に分かりやすい援助の仕方（声の大きさ、スピード等）や発達に即した実践をすることができる。 （傾聴力）実習指導者の意見を正確に理解したり、疑問について質問をしたりすることができる。自分に対する指導においても素直に聞き、受け止めることができる。 （規律性）実習のルール（実習態度、日誌の期日を守った提出等）の必要性、重要性を理解し、遵守することができる。	
			②	✓				
			③	✓				
			④	✓				
			⑤	✓				
総合評価割合		100						

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
(S) ①保育所の役割や機能について、具体的な実践を通して十分に理解でき、自分の言葉で丁寧に記録できる。 ②子どもの観察や関わりの視点を明確にすることを通して、保育について十分に理解でき、自分の言葉で丁寧に記録・実践できる。 ③既習の教科目や保育実習Ⅰの経験を踏まえ、子どもの保育及び子育て支援についてについて総合的に十分に理解でき、自分の言葉で丁寧に記録・実践できる。 ④保育の計画・実践・観察・記録及び自己評価等について、実際に取り組み理解を深め、自分の言葉で記録・実践できる。 ⑤保育士の業務内容や職業倫理について、具体的な実践に結びつけて十分に理解でき、自分の言葉で丁寧に記録・実践できる。 ⑥実習における自己の課題について十分に理解でき、自分の言葉で丁寧に明確に記録できる。	(B) ①保育所の役割や機能について、具体的な実践を通してに理解でき、自分の言葉で記録できる。 ②子どもの観察や関わりの視点を明確にすることを通して、保育について理解でき、自分の言葉で記録・実践できる。 ③既習の教科目や保育実習Ⅰの経験を踏まえ、子どもの保育及び子育て支援についてについて総合的に理解でき、自分の言葉で記録・実践できる。 ④保育の計画・実践・観察・記録及び自己評価等について、実際に取り組み理解でき、自分の言葉で記録・実践できる。 ⑤保育士の業務内容や職業倫理について、具体的な実践に結びつけて理解でき、自分の言葉で記録・実践できる。 ⑥実習における自己の課題について理解でき、自分の言葉で記録できる。
(A) ①保育所の役割や機能について、具体的な実践を通して十分に理解でき、自分の言葉で記録できる。 ②子どもの観察や関わりの視点を明確にすることを通して、保育について十分に理解でき、自分の言葉で記録・実践できる。 ③既習の教科目や保育実習Ⅰの経験を踏まえ、子どもの保育及び子育て支援についてについて総合的に十分に理解でき、自分の言葉で記録・実践できる。 ④保育の計画・実践・観察・記録及び自己評価等について、実際に取り組み理解を深め、自分の言葉で記録・実践できる。 ⑤保育士の業務内容や職業倫理について、具体的な実践に結びつけて十分に理解でき、自分の言葉で記録・実践できる。 ⑥実習における自己の課題について十分に理解でき、自分の言葉で明確に記録できる。	(C) ①保育所の役割や機能について、具体的な実践を通してに理解でき、教科書等を参考に記録できる。 ②子どもの観察や関わりの視点を明確にすることを通して、保育について理解でき、教科書等を参考に記録・実践できる。 ③既習の教科目や保育実習Ⅰの経験を踏まえ、子どもの保育及び子育て支援についてについて総合的に理解でき、教科書等を参考に記録・実践できる。 ④保育の計画・実践・観察・記録及び自己評価等について、実際に取り組み理解でき、教科書等を参考に記録・実践できる。 ⑤保育士の業務内容や職業倫理について、具体的な実践に結びつけて理解でき教科書等を参考に記録・実践できる。 ⑥実習における自己の課題について理解でき、教科書等を参考に記録できる。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
1	・養護と教育が一体となって行われる保育について、実践的に取り組み理解を深める。 ・保育所の社会的役割と責任について、実践的に取り組み理解を深める。 ・子どもの心身の状態や活動の観察から、保育への理解を深める。 ・保育所の生活の流れや展開について、観察と実践から理解を深める。 ・環境を通して行う保育、生活や遊びを通して総合的に行う保育を実践し、理解を深める。	実習 google classroomにて フィードバック	責任と主体性を持って 実習に臨むことができる。	予習：次の日の保育の ねらいを理解し活動準備を行う 復習：その日の活動を 振り返り、記録・反省 する	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
2	・地域の保護者等に対する子育て支援について実践し、理解を深める。 ・入所している子どもの保護者支援について実践し、理解を深める。 ・作成した指導計画に基づいた保育実践を行い、評価を行う。 ・多様な保育の展開と専門職としての保育士の職業倫理についてについて理解を深める。 ・自己の課題を明確化することで、次の自己の課題を見出す。	実習	責任と主体性を持って 実習に臨むことができる。	予習：次の日の保育の ねらいを理解し活動準備を行う 復習：その日の活動を 振り返り、記録・反省 する	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
			○			
			○			

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力